

貸出用DVD一覧

※令和6年8月1日現在

佐賀公共職業安定所管理分

	題名及び製作年	時間	製作・企画	内 容
1	公正採用選考のころ (平成20年)	25分	東映(株) (DVD)	公正な採用選考をしていくうえで最も大切なのは人権尊重の意識をもつことである。このビデオでは、就職活動中の3人のケースを取り上げ、女性への偏見、年齢を問わない採用、部落問題等公正採用選考のための情報を取り上げ、採用選考における人権意識のあり方を考える。
2	内定者からの手紙 ～公正な採用選考のために～ (平成21年)	26分	東映(株) (DVD)	採用選考を行うときには、応募者の基本的人権を尊重し、適性と能力のみを判断基準とする公正な採用選考をすすめることが基本です。しかし、採用選考のメインとなる応募用紙や面接、筆記試験などには注意が行き届いても、内定後の書類提出などで人権的な配慮に欠くケースがあったり、採用選考が事業所ごとの判断に任ざられていて、公正な採用選考の意義が社内に広く浸透していない場合もあります。このビデオは、公正な採用選考の基本となる人権尊重の意識が、採用選考のプロセスのすみずみまで、さらに会社全体まで広くいきわたることの重要性をテーマにストーリーを構成しています。
3	どうしてそんなこと聞くの ～公正な採用選考のために～ (平成22年)	27分	東映(株) (DVD)	最近では採用選考を行う際に、受験者にエントリーシートを課す企業が増えており、その活用にあたって、公正採用選考に資する事項を記載させる必要があり、また、面接時にも面接者の人権に配慮した面接を行うことを取り扱ったものです。
4	本当の出会いのために ～エントリーから始まる公正採用選考～ (平成23年)	27分	東映(株) (DVD)	受験者一人がエントリーする企業数は増加し、それに対応して企業の採用担当者の業務も多忙になってきています。公正な採用選考をするためには、受験者の基本的人権を尊重し、適性と能力のみを採用選考の基準にすることが大切です。この作品では、エントリーといった一連の流れの中で、いかにして受験者の基本的人権を守り、企業にとっても受験者にとっても望ましい採用選考の在り方が実現できるかを、ドラマスタイルで提起する内容です。
5	だれにでも開かれていますか？ ～公正な採用選考を求めて～ (平成24年)	28分	東映(株) (DVD)	就職における採用選考は、応募者の人生を左右しかねないとても重要な機会です。採用する側も、応募者の基本的人権を尊重し、公正な採用選考をすることが求められ、特定の人に絞った採用を志向することは、応募者の職業選択の自由を侵すこととなります。この作品は、公正な採用選考を進めるにあたって、企業が門戸を広く開き、人権に関する感覚を高めていくことが重要であるという内容です。
6	みんなで語ろう！ 公正な採用選考 (平成25年)	26分	東映(株) (DVD)	企業の人事部門の担当者にとって、公正な採用選考の知識とそれを具現化する技能は体得しておくべきものです。公正な採用選考について知っているつもりでも、その基本的な考え方を改めて学ぶことは、人事採用における更なるスキルアップを改めて学ぶことは、人事採用における更なるスキルアップにつながります。
7	フェアな会社で働きたい (平成27年)	25分	東映(株) (DVD)	人事部の新入社員の体験をドラマ化にして、公正な採用選考をはじめとする企業における人権のあり方について学んでもらえるような教材として制作されました。
8	“尊重する”から始めよう ～公正採用選考の基本を学び～ (平成29年)	29分	東映(株) 教育映像部 (DVD)	この作品では、採用選考にかかわる事例を短く取り上げ、公正採用選考の基本的な考え方と、その原点である同和問題と人権尊重のころを学びます。
9	公正な採用選考が 企業にもたらすもの (平成30年)	25分	東映(株) 教育映像部 (DVD)	この作品は、公正な採用選考の意義や、公正さをいかに守っていくなどについて、具体的な事例をふんだんに盛り込み、企業の採用担当者の目線でわかりやすく描かれています。
10	なぜ公正採用選考は基本なのか (令和元年度)	25分	東映(株) 教育映像部 (DVD)	この作品は、ある企業を舞台に、人事部の採用担当者たちがさまざまな部署を訪ね、採用選考のための面接のロールプレイを重ねることを描いた作品です。さまざまな部署の多様な意見を受け止め、応募者が質問を受けたときどう感じるのか。不適切な質問とはどういうもので、なぜ不適切なのか。また、逆に適切な質問とはどのようなものか。そして、そもそもなぜ公正な採用選考は基本なのかということに向き合っていく内容です。
11	出会いを豊かなものに ～公正さでのぞむ採用選考～ (令和2年度)	30分	東映(株) 教育映像部 (DVD)	採用選考は、企業にとって、未来を左右するようなどとても大事なものです。採用選考の場を豊かな出会いの場とするには、会社にとっても応募者にとっても有益となります。よりよい採用選考のためには、予断と偏見にとらわれず、応募者の適性と能力のみを判断基準とし、応募者の基本的人権を尊重した採用選考を行うことが重要です。この作品では、公正な採用選考をおこなうために、どのようなことに気をつければよいか、また、より良い採用選考の方法はどんなものかを解説するためのものです。立場や知識の違う多様な担当者が登場しますので、いろいろな立場の採用担当者の目線で視聴することが可能な作品となっています。
12	想いの“架け橋”になる ～公正な採用選考のために～ (令和4年度)	28分	東映(株) 教育映像部 (DVD)	採用選考は、応募者と企業の想いを結ぶ“架け橋”と言えます。応募者はいきいきと働けるより良い職場を求め、企業は優秀な人材を採用して思い切り働いてもらいたい。その両者をつなぐ採用選考の場においては、応募者の人権を尊重し、広く門戸を開くことが大切です。また、適性と能力をはかる適切な評価基準をつくることも重要です。この作品は、人事部に配属された新入社員が、上司のあたたかい指導を受け、同期入社社員と心の交流をしながら、人事職員として採用選考の基本を身に付けていく成長のものがたりです。
13	ともに歩むために ～公正な採用選考の理解と認識をめざして～ (令和5年度)	28分	東映(株) 教育映像部 (DVD)	この作品は、ある企業の人事職員が採用選考に置いて相次ぐ内定辞退に直面し、さらに就活情報サイトでの批判的な書き込みコメントをきっかけに、自身の会社できちんと公正な採用選考が行われていたのか、人権意識やCSR(企業の社会的責任ある行動)の観点で無意識のつまずきがなかったか、採用プロセスの検証と点検を行っていくことで、改めて公正な採用選考に向き合う物語です。新たな仲間を探して出会い、互いを知って共に歩むために。そして働く従業員ひとりひとりが人権意識を持って共に歩むために、公正な採用選考の理解と認識をめざす映像教材です。
14	扉をひらく、未来をひらく ～公正な採用選考～ (令和6年度)	29分	厚生労働省 (DVD)	「公正採用選考」の考え方について、わかりやすく解説した動画です。事業主・採用選考担当者のみならず、求職者のみならずぜひご覧ください。なお、厚生労働省YouTubeや公正採用選考特設サイトに掲載しておりますので、研修会等でのご活用をお願いいたします。(オンライン研修での使用も可能です)